

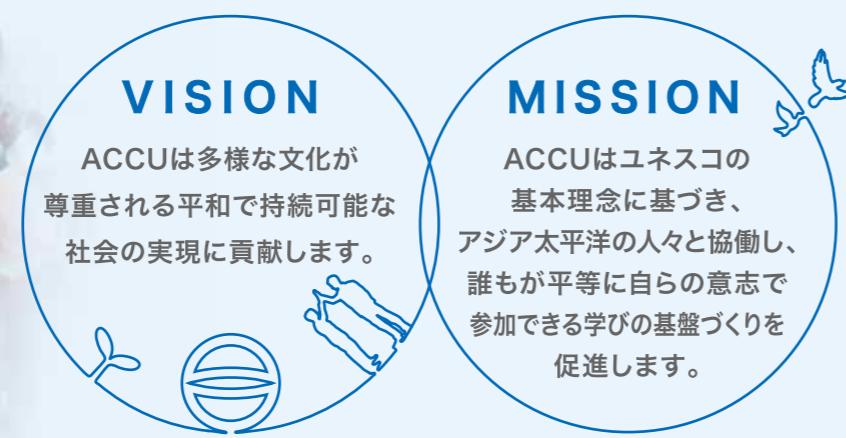


Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO

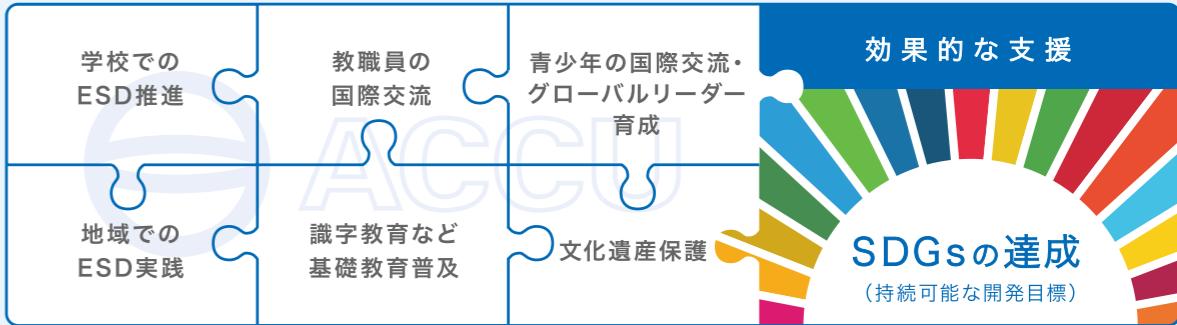
公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター



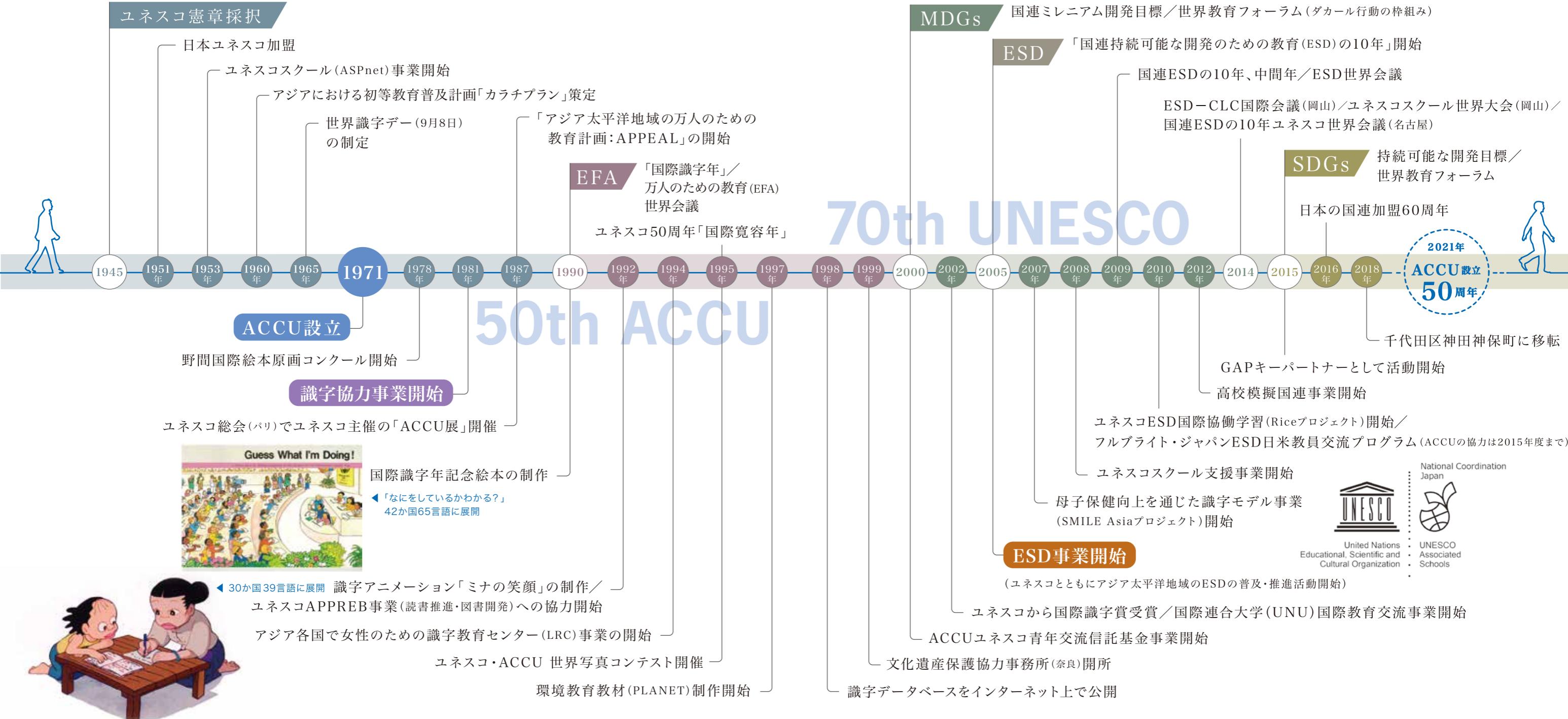
ユネスコ・ACCUの歩み



ACCUの活動はSDGsの達成に貢献しています。



SDGs: Sustainable Development Goals



ACCUのはじまり [ユネスコの思いを形に]

始まりは1964年パリ。ユネスコ第13回総会での1つの決議「書籍が相互理解と経済的・社会的な発展を増進する重要な手段である」という考えのもと、開発途上にある地域での出版開発計画が策定されました。その後、様々な検証を経て、1971年にユネスコと協力して「主としてアジア地域諸国の文化交流を促進するとともに伝統の保存・活用に協力し、もってこれらの諸国の文化の振興と相互理解に寄与すること」を設立目的とした機関として誕生しました。

今に続くACCU [学びを通して人と人、人と地域社会、伝統と未来を「つなぐ」]

2011年、ACCUは法人格を公益財団法人に移行し、引き続きユネスコと緊密な連携を図りながら、アジア太平洋地域のユネスコ加盟国と協力して、教育協力、国際教育交流、文化遺産保護協力の分野での事業を数多く推進しています。また、2015年9月に国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の2030年までの達成に向けて、主に第4目標「質の高い教育をみんなに」において、これまでの知見を活かした事業展開を図っています。



基礎教育の普及を目指した支援

母子保健をテーマにした識字教育支援事業、SMILE Asiaプロジェクトを実施しています。読み書き計算の学習に加え、保健衛生など、生きるために不可欠な知識を実践を通じて学びます。2008年からはカンボジアを中心にプロジェクトを展開し、政策との連携を視野に現地NGOとの協働を続けています。また、国内外の識字教育に関する啓発活動にも取り組んでいます。

◎ 本プログラムは、個人や企業の皆さまからの温かいご支援により運営しております。
寄附に関する詳細は下記をご覧ください。

- 活動例**
- ・母子保健、保健衛生、その他ライフスキルをテーマにした識字教育支援事業
 - ・識字教育のための教材開発
 - ・国内外の識字事情に関する出前授業の実施と啓発活動

現地の声

「私たち女性を健康で強くしてくれました」

私が9歳の時、内戦が起こり学校に通うことができなくなりました。それでも、学ぶことを決して諦めず、学校以外の場でも勉強を続けました。識字クラスを私たちのために開き、私たち女性を健康で強くしてくれたSMILEに感謝しています。

3つの州の61の村で1,340人以上の女性が参加

※ カンボジア内、「SMILE Asia プロジェクト」(2008年～2019年)

「教育の大切さに気づきました」

SMILEの識字クラスに参加したことで教育の大切さに気付き、娘には学校で学び続けるよう促しました。そして娘は現在、高校に通っています。今の私の願いは、読み書きを学び続けるためにSMILEがまた私の村で再開されることです。



ESDの実践を通した地域づくり

ESDを通して、教育機関(学校や生涯学習施設)や行政、市民社会、企業など、地域の様々な関係者間の連携を促し、共に持続可能な地域づくりを推進していくための支援活動を行っています。また、国内外の様々な取り組みをつなぎ、地域づくりから始めるSDGs達成に向けた学び合いの場づくりをサポートしています。

- 活動例**
- ・若者を主体とした持続可能なコミュニティ開発プロジェクトの実施
 - ・公民館やコミュニティ学習センターなど、地域に根差したESDの推進・支援
 - ・持続可能な地域づくりを推進する学びの共同体構築支援

- 受託実績**
- ・ユネスコ本部及び地域事務所委託事業
 - ・文部科学省政府開発援助ユネスコ活動費補助金事業

文化遺産保護

奈良にある文化遺産保護協力事務所(ACCU奈良事務所)では、ユネスコやイクロム(文化財保存修復研究国際センター)などの国際機関や、国立文化財機構など国内の専門機関と連携して、文化遺産保護に携わる人材の育成のための研修や、文化遺産保護に関する情報の発信などの事業を行っています。

- 活動例**
- ・アジア太平洋地域の文化遺産担当者を招へいする研修(個別テーマ研修・集団研修)
 - ・アジア太平洋地域で実施する研修(文化遺産ワークショップ)
 - ・国際会議
 - ・文化遺産セミナー
 - ・高校生対象の世界遺産教室

- 実績**
- ・博物館収蔵品に関する個別テーマ研修は2015年より毎年実施
 - ・海外現地での文化遺産ワークショップは12回実施
 - ・県内高校生対象の世界遺産教室プログラム ※2005年から年間4校でスタートした同プログラム、現在は延べ7,000名を超える参加者数(2018年)

② 事業への支援をしよう！※どの口座へのご寄附も税制上の優遇措置を受けていただけます。

- ACCU事業への寄附 郵便振替口座: 00100-9-118021 口座名義: 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター
- 識字・ノンフォーマル教育支援活動への寄附 郵便振替口座: 00120-7-365298 口座名義: ACCUアジアの女性識字振興募金
- ユネスコスクールの活動・拡大推進への寄附 郵便振替口座: 00180-2-727794 口座名義: 輝け未来！ユネスコスクール応援募金

③ 家に眠る不要になったものでの寄附

読まなくなった本や、不要になった“お宝”は提携業者により買取られ、ACCUへの寄附となり、新たな形でこれから学ぶ人の助けとなります。

古本
による寄附

ノースブックセンター様 TEL: 042-677-6184

お宝
による寄附

お宝エイド様 TEL: 03-6265-7595

④ 遺贈による寄附

信託銀行と提携しております。
詳しくはACCUまでお問い合わせください。
TEL: 03-5577-2851



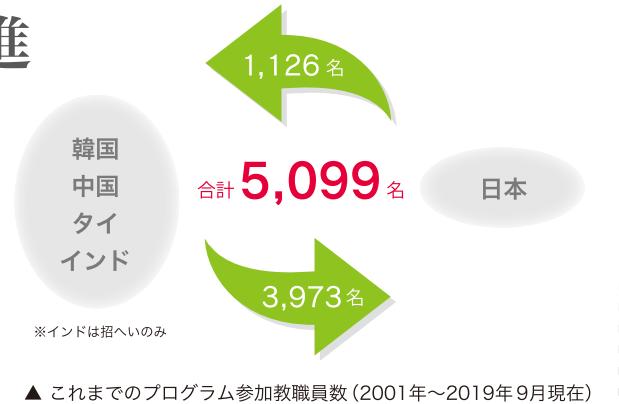
教職員の国際交流を通じた国際理解推進

未来を担う子どもたちを育む「先生」を対象とした国際交流プログラムを実施しています。教職員がお互いの国の学校などを訪問し、現地の先生や児童・生徒と交流し、教育事情を学びます。顔が見える交流によって多種多様な文化の理解と友好を深め、教職員自身が容容していくことは、子どもたちの豊かな学びへつながります。ACCUは長年の実績により培った国内外のネットワークを活かして多様な機関と協力し、学び合いの機会を提供しています。

活動例 ・日本教職員の海外派遣 ・海外教職員の日本への招へい

多様な国際ネットワーク ユネスコ、国際連合大学等の国際機関や国際NGO、各国政府機関等

受託実績 約20年にわたり国際機関および政府機関の教育交流事業を受託、企画・実施・運営 2000年～2001年 ▶ ACCU・ユネスコ青年交流信託基金事業
2002年～2018年 ▶ 国際連合大学委託 国際教育交流事業
2018年～ ▶ 文部科学省委託 初等中等教職員国際交流事業



青少年の国際交流

海外の青少年を招へいし、教育機関や専門機関への訪問、同世代との交流を通して自国と日本とのつながりを考えるとともに、参加者が「日本で」あるいは「日本の仲間とともに」学び、共通の課題を解決していく将来像を描くきっかけを作ります。



世界に羽ばたく未来のリーダー育成 高校模擬国連

模擬国連は、国連会議のシミュレーションを通じて世界の様々な課題について学びながら、プレゼンテーション能力や合意形成能力を育てる取り組みです。ACCUは2012年度からグローバル・クラスマッチ日本委員会とともに国内大会の開催と国際大会への代表派遣事業を実施しています。2018年度から3年間は毎年2名×2枚の「地域創生枠」を設け、これまで国際大会への派遣実績のない地域に、機会の拡充を図ります。

活動例 ・全日本高校模擬国連大会の実施と運営 ・高校模擬国連国際大会への日本代表団派遣支援

学校教育におけるESD推進

ユネスコを主導機関として世界中で取り組まれている持続可能な開発のための教育(ESD)。ACCUでは、国内外のネットワークを活用し、学校と学校、学校とあらゆる教育機関をつなげながら、学校全体でESDに取り組むための支援をしています。また、日本国内のユネスコスクールを取りまとめる機関として、地域におけるESD推進拠点の整備、質の高い教育の探求など、学校教育を軸とした様々な活動・支援を行っています。

活動例 ・これからESDを推進していきたい学校へのサポート
・ユネスコスクール加盟校教員へ向けたESDに関する研修会の開催
・国際的なネットワークを活用した協働学習の実施
・SDGsを軸にした学校カリキュラムの開発・実施
・ESDに関する教師教育の推進

受託実績 ・ユネスコ本部及び地域事務所委託事業
・文部科学省委託日本 / ユネスコパートナーシップ事業
・文部科学省ユネスコ活動費補助金事業

ESD

「持続可能な開発のための教育 Education for Sustainable Development : ESD」とは、私たちとその子どもたち、その子孫たちがこの地球で生きていくことを困難にするような問題を予見し、立ち向かい、解決するためのすべての人にとっての学びです。

◎ACCUはユネスコスクール事務局を担っています。

ユネスコスクールとは、ユネスコの理想を実現する学校です。2018年時点では世界180か国を超える11,000校以上が加盟。また日本では、1か国あたり世界最大の1,100校以上が加盟しています。

皆様のご支援で続く『未来』があります。

お申込みはコチラから

<http://www.accu.or.jp>

① ACCUへの支援 ~パートナーになろう!

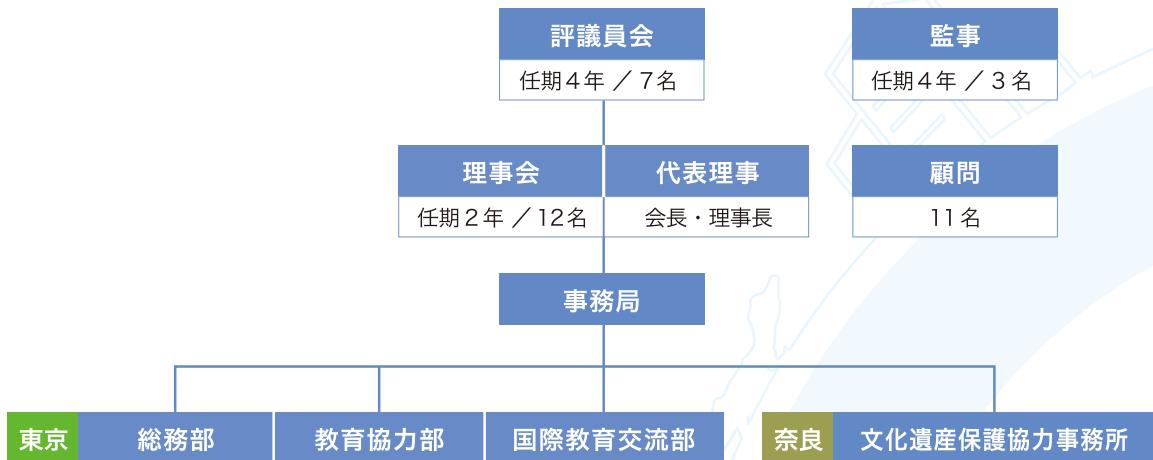
1. 個人会員	1口: 1万円
<種類> 2. 学生会員	<年会費> 1口: 5千円
3. 法人会員	1口: 5万円

※何口でもお申し込みいただけます。

組織概要

法人名：公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター
Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)

設立：1971年4月26日



◎ 公益財団法人とは… 内閣府に設置された公益認定等委員会の審議を経て、
「公益事業」を行う組織として認定された法人のことです。

【役員等】

理事(12名)

代表理事・会長	張 富士夫	トヨタ自動車株式会社相談役
代表理事・理事長	田村 哲夫	学校法人渋谷教育学園理事長
理事	足立 直樹	凸版印刷株式会社特別相談役
	老川 祥一	読売新聞グループ本社取締役最高顧問・主筆代理
	葛西 敬之	東海旅客鉄道株式会社取締役名誉会長
	金丸 徳雄	株式会社講談社常務取締役
	木曾 功	千葉科学大学学長・元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使
	高坂 節三	公益財団法人日本漢字能力検定協会代表理事長
	杉江 和男	公益財団法人産業教育振興中央会理事長
	三木 繁光	株式会社三菱UFJ銀行名誉顧問
	茂木友三郎	キッコーマン株式会社取締役名誉会長兼取締役会議長
	森本 晋	ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所長

監事(3名)

相賀 昌宏	株式会社小学館代表取締役社長
香村 正雄	香村公認会計士事務所公認会計士
田村 聰明	学校法人青葉学園副理事

評議員(7名)

黒田 一雄	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授
鈴木 正一	全国都道府県教育委員会連合会事務局長
高際伊都子	学校法人渋谷教育学園渋谷中学高等学校副校長
中町 英樹	一般社団法人日本書籍出版協会専務理事
福島 康志	日本私立中学高等学校連合会事務局長
見上 一幸	前国立大学法人宮城教育大学学長
渡辺 良	国立教育政策研究所名誉所員

顧問(11名)

石原 邦夫	東京海上日動火災保険株式会社相談役
井上 正幸	公益財団法人日本国際教育支援協会理事長
鬼追 明夫	弁護士法人なにわ共同法律事務所弁護士
佐々木正峰	国立科学博物館顧問
佐藤 袖一	元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使
鈴木 佑司	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟理事長

中野 良子

野口 昇	女優・WILL国際文化交流センター代表
林 梢	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟顧問
松浦晃一郎	元ペルギー特命全権大使
志野 光子	元ユネスコ事務局長
	外務省大臣官房国際文化交流審議官

2019年10月1日時点 ※敬称略50音順

所在地・連絡先

東京 〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-32-7F 出版クラブビル

TEL : 03-5577-2851 (代表) FAX : 03-5577-2854

Email : general@accu.or.jp



交通のご案内

・神保町駅（東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄新宿線・三田線）A5出口より徒歩2分

・JR水道橋駅 東口より徒歩9分

奈良 文化遺産保護協力事務所

〒630-8113 奈良県奈良市法蓮町757
(奈良県奈良総合庁舎1階)

TEL : 0742-20-5001

FAX : 0742-20-5701



<http://www.accu.or.jp>



<https://www.facebook.com/accu.or.jp>

